

令和6年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会

令和6年9月19日（木）、地域学校協働活動及び学校運営協議会関係者や社会教育関係者、小・中学校教職員等を対象に、令和6年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会を開催しました。

今年度は奈良市富雄中学校区地域教育協議会・総合コーディネーター 奈良県CSアドバイザー 新谷 明美 様に演習と講演をお世話になり、「協働」を軸とした研修を行いました。

演習では「あいさつ」をテーマに「協働」へと繋がる「言葉を紡ぐ熟議」を体験しました。また、講演では「支援、連携」と「協働」の違いや、「協働」のための学校と地域の関係構築に必要な視点等について学ぶ機会となりました。参加者の感想からは、「多様性、平等性、共感力」を大切にしながら当事者意識をもって演習に取り組むとともに、学校と地域の「連携」から「協働」へと発展させようとする意欲の高まりが感じられました。

この研修会を機に、子どもたちを心豊かで健やかに育む環境づくりが管内にさらに広がっていくことを期待します。

《感想》

- ・何のために、何が必要かを理解して協働を目指していくことが大事だと思った。
- ・熟議することの大切さ、そのためにどんな子ども達に育てていくか、目指す子ども像の共有が大切であると改めて感じました。地域で子ども達を育てていくことをコーディネートしていきたいと思えます。
- ・子ども達のために目的と課題を共有し、地域学校協働活動を進めることができるよう努力していきたい。

